

RSウイルスワクチン 「アブリスボ®」



生まれてくる赤ちゃんをRSウイルス感染症から守る予防接種です。
妊娠中にママが接種することで、予防効果が期待できます。
2026(令和8)年4月1日より、公費負担となりました。

実施期間 2026年(令和8年)4月1日～

対象 妊娠28週0日～36週6日の妊婦

自己負担額 無料(公費負担)

対象自治体

立川市、昭島市、国立市、国分寺市、小平市、東大和市、武蔵村山市、
小金井市、狛江市、清瀬市、東村山市の11市

※11市以外に住民票がある方は、事前にお住いの市区町村へ申請、承認を受けたいうえで当院で接種後、
自費でお支払い。申請した市区町村から払い戻し有。(詳細はお住いの市区町村で確認を)

接種回数 筋肉注射1回のみ ※予約制です。

【接種について】

接種部の腫れ、紅斑、痛み、倦怠感、軽度の発熱や低血圧、吐き気、失神(迷走神経反射)などがみられることがあります。

接種後の反応を確認するため、接種後30分は院内でお過ごしください。

【推奨される接種時期について】

対象は36週6日までですが、接種後、赤ちゃんに免疫が移行するまでに約2週間かかり、効果はおよそ6か月続くとされています。

接種から2週間以内に出産した場合は、免疫が十分に移行しない可能性があります。

これらを踏まえ、当院では妊娠32週0日～34週6日での接種をおすすめしています。

予定日	状況	対応
4月22日まで	公費負担時期開始に間に合わない	自費での接種となります。
4月23日～5月6日まで	公費負担時期ではあるが、推奨期間を超える	推奨時期での接種希望→自費 4月1日以降、早めの接種→公費負担
5月7日以降	推奨時期に間に合う	4月1日以降、32週～34週6日での接種をおすすめ

※接種当日は、母子手帳・市町村から配布された予診票をお持ちください。

※ご不明点は妊婦健診時、医師へご相談ください。